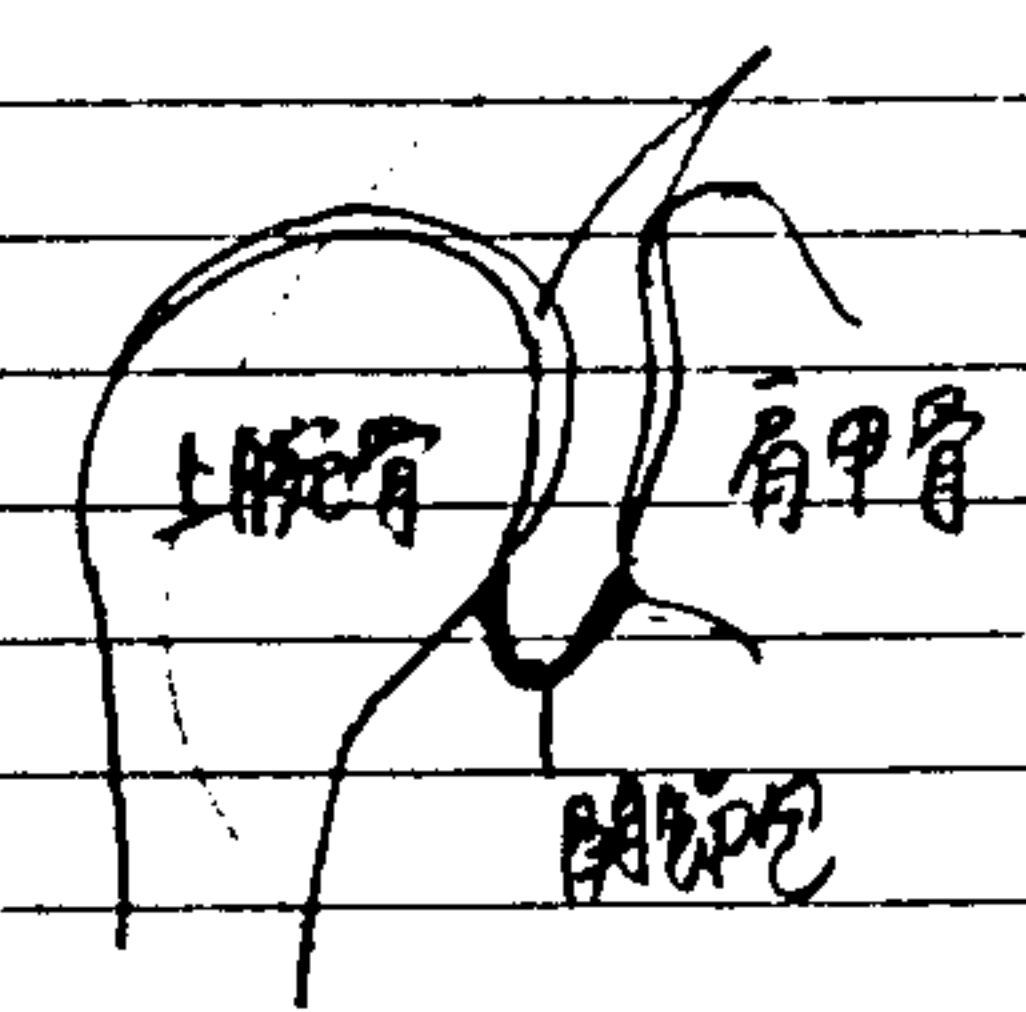


16



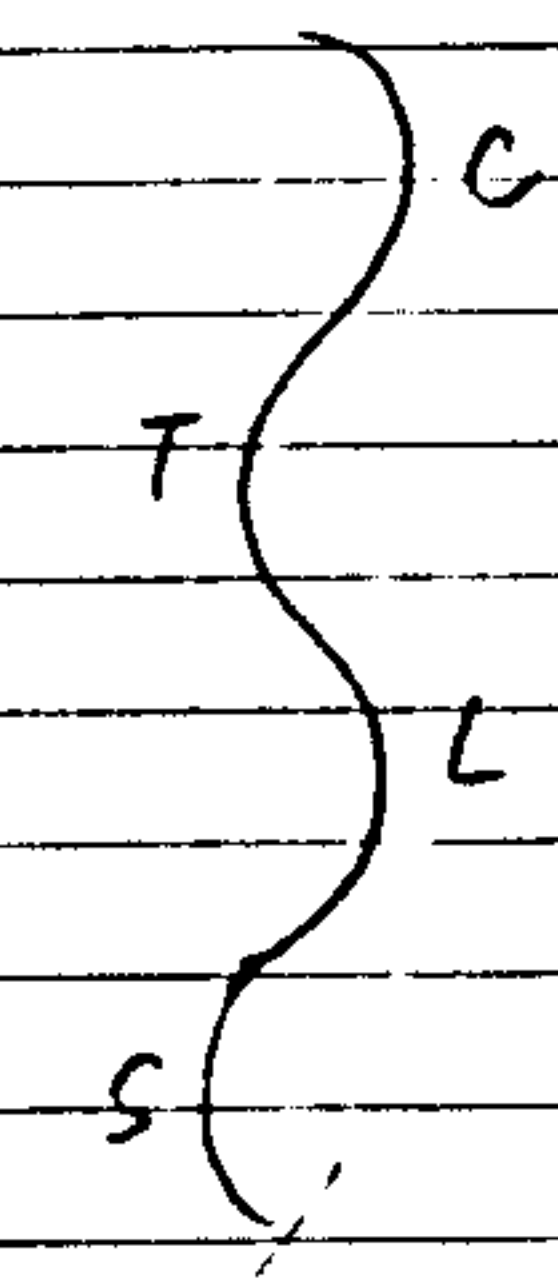
球関節  
運動性大  
脱臼多い

- 問5 1. 側頭 2. 中鼻 3. 篩 4. 下顎 5. 側頭  
6. 乳突 7. 後頭 8. 中頭蓋 9. 中硬膜 10. 後頭蓋

- 問6 1. c 2. b 3. c 4. a 5. d 6. c 7. b 8. c  
9. a 10. d

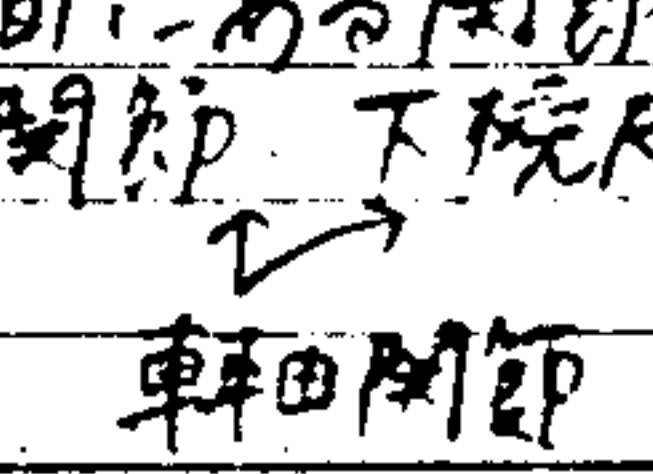
### 00年度 本試験

- 問1 1. 肩胛から寛骨の内面を通して恥骨結合の上縁にひいた線。  
2. 上肢を水平から遠ざける方向への運動。  
3. 胸骨下端の剣先の形をして軟骨。  
4. 身体を前後に貫く水平線を含む鉛直面。(矢状面)  
5. 手根骨、拍節骨と関節する、中手の骨格を形成する5つの長骨。

問2 1)  頸椎, 腰椎は前弯しており、胸椎 仙骨は後弯している。頸椎は7つ、胸椎は12つ、腰椎は5つ、仙骨は5つの椎骨から成っている。  
脊柱が体重を支えるため

- 2) 椎間円板は同腰部が線維輪、中心部が骨髄核でできている。骨髄核が線維輪の弱い部分を押し、椎管内へ突出すると、坐骨神経などの圧迫症状が出る。通常、下部腰椎部で起こる。

- 問3 1. 関節を囲んでいる膜。外側は線維膜で内側は滑膜でできている。  
2. 一方の関節面が他方の関節面に対して単純の二つに回転する一軸関節。  
3. 拮抗筋は同様の作用をもつ。相互に協力しあうように働く筋。拮抗筋は反対の機能をもつ筋。  
4. 起始は筋肉の付着する動かない方。停止に動く方。  
5. 肋骨と胸椎をつなぐ関節。肋骨頭関節と肋横突関節からなる。

問4 上腕骨・尺骨・橈骨の間にある関節。主に肘関節が働いており、他に腕橈関節・上橈尺関節・下橈尺関節がある。  
 肘関節  
下橈尺関節